

第 272 回技術委員会議事録

(一社)情報処理学会 情報規格調査会

日時：2019年6月25日(火) 14:00 ~ 17:10

場所：機械振興会館 地下3階 研修2号室

国際規格開発賞の表彰：

プロジェクトエディタを担当した次の2名の受賞が紹介された。

蔵田 武志 (産業技術総合研究所)

ISO/IEC 18520:2019, Information technology -- Computer graphics, image processing and environmental data representation -- Benchmarking of vision-based spatial registration and tracking methods for mixed and augmented reality (MAR)

池田 宏明 (千葉大)

ISO/IEC 13251:2019, Information technology -- Collection of graphical symbols for office equipment

定足数の確認：

委員 44 名 (うち代理 1 名, 委任 20 名), オブザーバ 2 名 (うち代理 2 名), その他 4 名。出席者の一覧は末尾参照。委員総数(59 名) の 1/3 の定足数を満たしていることを確認した。

関規格役員が議長として指名され、司会進行をした。議題項目 7.については、議長を伊藤委員長に交代した。

議題：

Agenda の承認

原案どおり承認された。Agenda1.1 版以降に追加された*印の審議案件を本会議で審議することについて反対はなかった。Agenda の資料番号の前に◆印がついている審議案件は、技術委員会の前に1週間メール審議されたものである。メール審議で承認された案件については内容の紹介が行われた。都合により一部順番を変更して審議・報告が行われた。

1.	議事録等確認		
1.1	第 271 回技術委員会(2019-05-28)議事録(案)		(資料 1)
	承認された。		
1.2	第 366 回規格役員会(2019-05-14)報告事項		(資料 2)
	了承された。		
2.	JTC1 関係審議		
2.1	JTC1/WG11	CD 30145-2(JTC1N14264)	(資料 3)
	Information technology -- Smart City ICT reference framework -- Part 2: Smart city knowledge management framework (投票期限：2019-07-12) メール審議することとなった。		
3.	SC07 関係審議・報告		
3.1	SC07	DIS 23643	(資料 4)
	Software and systems engineering -- Capabilities of software safety and security verification tools (投票期限：2019-07-02) 「ソフトウェア及びシステム技術 — ソフトウェアの安全性とセキュリティの検証ツールの能力」 回答案：コメント付賛成 事前のメール審議で承認済みであるが、1 点、subclause 5.1 のタイトルを削除するコメントを追加することとなった。 5.2 以降が無く subclause が不要のためである。(谷津 SC7 専門委員会委員長)		
3.2	SC07	DIS 23396	(資料 5)
	Systems and software engineering — Capabilities of review tools (投票期限：2019-09-11) 「システム及びソフトウェア技術 — レビューツールの能力」		

<p>回答案：賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（谷津 SC7 専門委員会委員長）</p>			
3.3	SC 07 総会報告	2019-05-20, 24, Espoo, Finland	(資料 6)
<p>参加国数/出席者数：19 カ国/120 名（日本からの参加者数：17 名+Zoom 参加 8 名程度） 特記事項： - 5月6日の週に開催された JTC1 総会における SD10 (Advisory and Ad Hoc Groups)の廃止決定をうけ, SC7での SWG および SG を廃止し, それぞれ Advisory Group および Ad Hoc Group として再編することとなった。 - DIS 投票期間を5カ月から3カ月に短縮することの寄書を SC7 から JTC1 へ提出することが SC7 総会で支持された。 - SC7 新議長および新 Secretariat による新体制に基づく運営が開始されて2回目の SC7 総会であったが, 新議長による穏やかな調整進行や, 幹事国インドの手厚いスタッフサポート, および各国・組織の協力的姿勢により, 幹事国業務は円滑に進みトラブルはなく終了した。</p> <p>次回開催予定：2020-06-07/12 岡山, 日本 (谷津 SC7 専門委員会委員長)</p>			
4.	SC24 関係審議		
4.1	SC24	DIS 18038	(資料 7 欠番)
<p>Information technology -- Computer graphics, image processing and environmental representation -- Sensor representation in mixed and augmented reality (投票期限：2019-07-17) メール審議することとなった。</p>			
5.	SC29 関係審議		
5.1	SC29	18477-1:2015/DAMd 1	(資料 8)
<p>Information technology -- Scalable compression and coding of continuous-tone still images -- Part 1: Scalable compression and coding of continuous-tone still images -- Amendment 1: Clarification of the upsampling process (投票期限：2019-06-28) 「情報技術 — 静止画像のスケーラブル圧縮と符号 — 第 1 部 基本符号処理仕様 — 追補 1 アップサンプリング処理の明確化」 回答案：賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（高村 SC29 専門委員会委員長）</p>			
5.2	SC29	18477-8:2016/DAMd 1	(資料 9)
<p>Information technology -- Scalable compression and coding of continuous-tone still images -- Part 8: Lossless and near-lossless coding -- Amendment 1: Clarification of the upsampling process (投票期限：2019-06-28) 「情報技術 — 静止画像のスケーラブル圧縮と符号化 — 第 8 部：ロスレスおよびニアロスレス符号化 — 追補 1：アップサンプリング処理の明確化」 回答案：賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（高村 SC29 専門委員会委員長）</p>			
5.3	SC29	23000-19:2018/DAMd 3	(資料 10)
<p>Information technology -- Multimedia application format (MPEG-A) -- Part 19: Common media application format (CMAF) for segmented media -- Amendment 3: HEVC Media Profiles update, new CMAF Structural Brand and other improvements (投票期限：2019-06-28) 「共通メディア応用フォーマット(CMAF) — 追補 3: HEVC メディアプロファイルの更新, 新しい CMAF の構造的ブランドその他の改良」 回答案：賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（高村 SC29 専門委員会委員長）</p>			
5.4	SC29	DIS 21122-4	(資料 11)
<p>Information technology -- Low-latency lightweight image coding system -- Part 4: Conformance testing (投票期限：2019-07-03) 「情報技術 — 低遅延軽負荷画像符号処理システム — 第 4 部：適合性試験」 回答案：賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（高村 SC29 専門委員会委員長）</p>			
5.5	SC29	NP 18181 (SC29N18123)	(資料 12)
<p>JPEG XL Image Coding System (投票期限：2019-07-06) 「情報技術 — JPEG XL 画像符号処理システム」</p>			

<p>回答案：Q1a:Approve/WD, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:No, Q4:No 原案どおり承認された。提案者の欄が SC29 となっているが、国際 SC29 で了承された内容なのか、との質問があり、確認後回答することとなった。（高村 SC29 専門委員会委員長）</p> <p>→その後、本件は事前に SC29 で NP 投票にかけることを承認しているとの回答が高村委員長よりなされた。</p>			
6.	SC31 関係審議		
6.1	SC31	NP 18000-63 (SC31N5062)	(資料 13)
<p>Information technology -- Radio frequency identification for item management -- Part 63: Parameters for air interface communications at 860 MHz to 960 MHz Type C (投票期限：2019-07-10) 「情報技術 — 物品識別用 RFID — 第 63 部：860MHz から 960MHz (タイプ C) におけるエアインタフェース通信のパラメータ」 回答案：Q1a:Approve/New project, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:No, Q4:Yes 原案どおり承認された。（渡辺 SC31 専門委員会委員長）</p>			
6.2	SC 31 総会報告	2019-06-06/07, Qingdao, China	(資料 14)
<p>参加国数/出席者数：13 か国+1 リエゾン/30 名（日本からの参加者数：4 名） 特記事項： -日本から総会後に NP 提案する予定のバーコード関連規格“Bar code printer and reader performance testing”のプレゼンテーションを WG1 コンビナ報告内で実施した。この規格は国内では、すでに JIS 規格（JISX0527）として成立している規格である。 -2016 年に発行された、日本がラポーターを務める AIDC 用語集 ISO/IEC19762 に対し、2021 年の SR での改定を前提に、渡辺氏をチェアとする ad hoc を設置し事前作業を開始することを決定した。現状 ISO/IEC19762 は英語、仏語、独語、露語、韓国語が併記されている規格で、SR では日本語と必要な新用語を追加し改定を行うが、膨大な作業時間が予想されることから前倒しでの作業が必要であると判断した。 -日本からの NB 報告では、2018 年度の RFID のトピックスとして、2018 年度に実施された経産省主導のコンビニ電子タグ 1000 億枚宣言の 3 度目のパイロットと、2018 年度より本格的に始まった QR コードを利用したモバイル決済の導入状況を日本での AIDC の市場動向と併せて報告した。</p> <p>次回開催予定：2020 年 Cape Town, South Africa (渡辺 SC31 専門委員会委員長)</p>			
7.	SC35 関係審議		
7.1	SC35	DIS 20071-11	(資料 15)
<p>Information technology -- User interface component accessibility -- Part 11: Guidance on text alternatives for images (投票期限：2019-07-24) 「情報技術 — ユーザインタフェース構成要素アクセシビリティ — 第 11 部：静止画像の代替テキストを作成する指針」 回答案：コメント付賛成 原案どおり承認された。（関 SC35 専門委員会委員長）</p>			
7.2	SC35	DIS 30150-1	(資料 16)
<p>Information technology -- Affective computing user interface (AUI) -- Part 1: Model (投票期限：2019-07-26) 「情報技術— 感情情報処理ユーザインタフェース — 第 1 部：モデル」 回答案：コメント付賛成 事前のメール審議で承認済み。内容の紹介が行われた。（関 SC35 専門委員会委員長）</p>			
7.3	SC35	NP 17549-3 (SC35N2945)	(資料 17)
<p>Information technology -- User interface guidelines on menu navigation -- Part 3: Navigation with 1-direction devices (投票期限：2019-07-17) 「情報技術 — メニュー選択ユーザインタフェース ガイドライン — 第 3 部：1 方向デバイスを用いたナビゲーション」 回答案：Q1a:Approve/WD, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:Yes, Q4:Yes 原案どおり承認された。（関 SC35 専門委員会委員長）</p>			
8.	SC37 関係審議		
8.1	SC37	DIS 30107-4	(資料 18)
<p>Information technology -- Biometric presentation attack detection -- Part 4: Profile for testing of mobile devices (投票期限：2019-07-19)</p>			

「情報技術 — 生体認証のセンサ入力攻撃検出技術 — 第4部：モバイル機器のテストプロファイル」 回答案：条件付反対 JP03のコメントタイプをgeからteに変更することとし、承認された。（新崎 SC37 専門委員会委員長）			
9.	SC38 関係報告		
9.1	SC 38 総会報告	2019-03-25,29, Seoul, Korea	(資料 19)
参加国数/出席者数：12ヶ国，5団体/41名（日本からの参加者数：2名） 特記事項： - SC 38 はタイトル通り Cloud computing と Distributed platforms の Fundamental standards を開発している。しかし他の TC/SC では SC 38 standards を参照せずに独自の規格を開発する事態が発生している。したがって、今後、SC27, SC 41, SC 42 に対する Liaison Coordination Group (LCG)の強化を図ることとなった。 - JTC 1 が設置する Ad Hoc Group や Study Group を担当するリエゾン代表を正式に任命した。JTC 1/SG 5 – Trustworthiness 担当には鈴木氏が任命された。 - 対外的な混乱を避けるため、タイトルの introductory element のデフォルトを以下のように変更することとした。 [現] – Cloud computing – [新] – Cloud computing and distributed platforms – 次回開催予定：2019-09-16/20 Stockholm, Sweden （鈴木 SC38 専門委員会幹事）			
10.	SC39 関係審議		
10.1	JTC1(SC39 に依頼)	DIS 24091	(資料 20)
Information technology -- Power efficiency measurement specification v3.0.3 (投票期限：2019-06-28) 「情報技術 — データセンター 電力効率測定 — 仕様 v3.0.3」 回答案：賛成 事前のメール審議で承認されていたが、次の2点のコメントを付けることとし、コメント付賛成で投票することとなった。 -タイトルに"Commercial storage products"を追加する。 -目次のページ番号を修正する。 本件は SNIA から PAS 手続きにより提出された DIS の投票である。（椎野 SC39 国内委員会委員長）			
11.	SC40 関係審議		
11.1	SC40	NP 24286 (SC40N777)	(資料 21)
Information technology -- Continual Performance Improvement -- Concepts and Terminology (投票期限：2019-07-17) 「情報技術 — 継続的なパフォーマンス改善 — 概念及び用語」 回答案：Q1a:Disapprove/No, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:No, Q4:No 参照 N 文書を N777/N778 に修正し、JP02 のコメントタイプの欄に te と入れることとし、原案どおり承認された。（平野 SC40 専門委員会委員長代理） → 回答案に添付したコメント表を投票システムで提出するためには Q3 を Yes にしておく必要があったため、Q3 を No から Yes に変更することが技術委員会メーリングリストにて報告された。			
11.2	SC40	NP 30105-8 (SC40N779)	(資料 22)
Information technology -- IT Enabled Services-Business Process Outsourcing (ITES-BPO) lifecycle processes -- Part 8: Continual Performance Improvement (CPI) of ITES-BPO (投票期限：2019-07-17) 「ISO/IEC NP 30105-8 情報技術— IT を使ったビジネスプロセスアウトソーシング(ITES-BPO)ライフサイクルプロセス—第8部：継続的なパフォーマンスの改善」 回答案：Q1a:Approve/WD, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:Yes, Q4:Yes Q1a に記載されているコメントを Q3 に移動させ、条件付き賛成のニュアンスとしない書き方にする事とした、また、Q4 のエキスパート記入欄に清水氏を追加することとし、承認された。（榎本 SC40/WG3 小委員会幹事）			
11.3	SC 40 総会報告	2019-06-03,07, Saint-Denis, France	(資料 23 欠番)
次回報告することとなった。			
12.	SC41 関係審議・報告		
12.1	SC41	日本からの NP 提案	(資料 30)
ISO/IEC 21823-4, Internet of Things (IoT) – Interoperability for Internet of Things Systems – Part 4: Syntactic Interoperability 「インターネット オブ シングス — IoT 相互運用性 — 第4部：シタクティック相互運用性」			

	スコープに書かれている、 - Methodology of how to define information exchange rules among different information models of different IoT systems from the syntactic viewpoint of their modelling languages の部分について、反対の意見があった。今回出された意見について継続審議・調整することとし、また関連する委員会として SC32 を追加することとし、再審議することとなった。（河合 SC41 専門委員会委員長）		
12.2	SC 41 総会報告	2019-05-26/31, Chongqing, China	(資料 24)
参加国数/出席者数：14 カ国／約 80 名（日本からの参加者数：6 名） 特記事項： - François Coallier 氏の議長再任について SC41 として承認された。 - ISO/IEC 30141(リファレンスアーキテクチャ)及び ISO/IEC 20924(用語)の更新議論のため、2019-09-03/05 に WG3 の中間会議を日本で行うこととなった。 - ISO/IEC 21823-4 (Syntactic Interoperability)の日本提案についての説明が山下委員より行われ、大きなコメントは無く NP 提案に進めることとなった。 次回開催予定：2019-11-22 St. Petersburg, Russia (河合 SC41 専門委員会委員長)			
13.	SC42 関係審議		
13.1	SC42	NP 24300 (SC42N329)	(資料 25)
Information technology -- Artificial intelligence --Process management framework for Big data analytics (投票期限：2019-07-19) 「ISO/IEC NP 24300 情報技術－人工知能-ビッグデータ分析のためのプロセス管理フレームワーク」 回答案：Q1a:Approve/New project, Q1b:Yes, Q2:No, Q3:Yes, Q4:Yes 原案どおり承認された。（榎本 SC42 専門委員会委員長代理）			
14.	JIS 原案作成委員会 完了報告		
14.1	IT 資産管理規格群 JIS 原案作成委員会 完了報告 (JIS X 0164-5)		(資料 26)
ISO/IEC 19770-5:2015 を JIS 化したものである。2015 年以降、シリーズで新版が発行された規格、JIS 化が行われた規格、及び JIS 化原案登録済みで出版待ちの規格について、ISO/IEC 19770-5:2015 出版時点では決まっていなかったことも、当規格で考慮され、審議に反映されている。（高橋 IT 資産管理規格群 JIS 原案作成委員会委員長）			
15.	その他報告案件		
15.1	メール審議の結果報告		(資料 27)
15.2	投票結果報告		(資料 28)
15.3	2019 年 7 月以降審議予定の投票案件		(資料 29)
事務局が 15.1~15.3 の資料を提出した。			

その他：

- 技術委員会メーリングリスト[9te:02017]にて連絡したように、11 月のニューデリー（インド）JTC1 総会のゼロからの寄書期限を 8 月 12 日に設定していますので、寄書候補がありましたらご連絡ください。（関副委員長）
- 三島様（経済産業省）の同省での任期が 6 月末までとのことで、ご挨拶を頂戴した。

委員名簿（敬称略）：

委員：

	氏名	勤務先	直接参加	代理	委任	電話	書面	
1. 委員長	伊藤 智	新エネルギー・産業技術総合開発機構	1					
2. 幹事	河合 和哉	(独)情報処理推進機構	1					
3. 幹事	関 喜一	産業技術総合研究所	1					
4. 委員	青野 雅樹	豊橋技術科学大学			1			委任：議長
5. 委員	浅井 光太郎	三菱電機株			1			委任：議長
6. 委員	東 充宏	富士通株			1			委任：議長
7. 委員	東 基衛	早稲田大学						
8. 委員	石崎 俊	慶應義塾大学			1			委任：議長
9. 委員	石畑 清	明治大学		1				代理：高木 渉
10. 委員	伊藤 雅樹	(株)日立製作所			1			委任：小川 健一
11. 委員	稲田 修一	(一社)情報通信技術委員会	1					
12. 委員	入江 満	大阪産業大学			1			委任：議長
13. 委員	岩田 秀行	日本電信電話株						
14. 委員	内田 富雄	(一財)日本規格協会						
15. 委員	榎本 義彦	日本アイ・ビー・エム株	1					
16. 委員	岡崎 靖子	日本アイ・ビー・エム株			1			委任：平野 芳行
17. 委員	小川 健一	(株)日立製作所	1					
18. 委員	奥村 明俊	(独)情報処理推進機構			1			委任：議長
19. 委員	小倉 博行	三菱電機株			1			委任：議長
20. 委員	落合 真一	三菱電機株			1			委任：議長
21. 委員	織田 哲治	日本アイ・ビー・エム株			1			委任：議長
22. 委員	柏野 和佳子	国立国語研究所						
23. 委員	菊池 拓男	職業能力開発総合大学校			1			委任：議長
24. 委員	楠 正憲	Japan Digital Design株						
25. 委員	黒川 利明	—						
26. 委員	小澁 弘明	NPO エコデザイン推進機構			1			委任：議長
27. 委員	酒井 康夫	(一社)日本自動認識システム協会						
28. 委員	坂本 竜太郎	(一社)ビジネス機械・情報システム産業協会			1			委任：議長
29. 委員	佐久間 正剛	(株)東芝	1					
30. 委員	椎野 孝雄	(株)キューブシステム	1					
31. 委員	清水 裕子	(株)東京システムリサーチ						
32. 委員	新崎 卓	(株)富士通研究所	1					
33. 委員	杉村 領一	産業技術総合研究所			1			委任：議長
34. 委員	鈴木 俊宏	日本オラクル株	1					
35. 委員	高梨 健一	(一社)電子情報技術産業協会			1			委任：議長
36. 委員	高橋 快昇	(一社)ソフトウェア資産管理評価認定協会	1					
37. 委員	高村 誠之	日本電信電話株	1					
38. 委員	高山 佳久	ソニー株						
39. 委員	竜田 敏男	情報セキュリティ大学院大学	1					
40. 委員	谷津 行穂		1					
41. 委員	田部 尚志	日本電気株	1					
42. 委員	土田 正士	首都大学東京			1			委任：議長
43. 委員	成井 良久	日本マイクロソフト株	1					
44. 委員	東田 正信	日本工業大学	1					
45. 委員	平田 謙次							
46. 委員	平野 芳行		1					
47. 委員	廣川 勝久		1					

48. 委員	福田 昭一	富士通(株)						
49. 委員	堀江 毅	ソニー(株)	1					
50. 委員	松本 隆明	(独)情報処理推進機構						
51. 委員	村上 憲稔							
52. 委員	村田 真	慶應義塾大学						
53. 委員	森 紘一		1					
54. 委員	山下 経				1			委任：鈴木 俊宏
55. 委員	山本 英朗	日本電信電話(株)	1					
56. 委員	山本 喜一				1			委任：議長
57. 委員	渡辺 友弘	(株)デンソーウェーブ	1					
58. 委員	渡邊 創	産業技術総合研究所			1			委任：議長
59. 委員	渡辺 裕	早稲田大学						
合計	44/59		23	1	20	0	0	

オブザーバ:

	氏名	勤務先	直接参加	代理	委任	電話	書面	
1. オブザーバ	田沼 知行	総務省		1				代理：鈴木 一樹
2. オブザーバ	中野 宏和	経済産業省		1				代理：三島 崇
3. オブザーバ	成田 達治	経済産業省						
合計	1/3		0	2	0	0	0	

説明者/その他(4名):

	氏名	担当委員会	勤務先
1.	渡部 由香	SC39 国内事務局	(一社) 電子情報技術産業協会
2.	篠木 裕二	事務局	情報規格調査会
3.	出井 敏夫	事務局	情報規格調査会
4.	長澤 有由子	事務局	情報規格調査会

「議事録文責:議長 関 喜一」